



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「新しい血管撮影装置が入りました」は3ページに掲載。

第44号 目次

特集	－医師が語る疾患－ 1
	第3回 肝硬変 臨床研究部長（消化器内科）小松 達司
お知らせコーナー	
	非常用自家発電機を増設しました 2
	新しい血管撮影装置が入りました 3
行事紹介 4
	第49回卒業式
	第52回入学式
連載 職員リレー紹介 5
	第3回 感染対策チーム（ICT）
地域医療連携 6
	外来担当医表／編集後記 7



発行 月：平成26年4月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：工藤 一大
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 FAX : 045-851-3902
 URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

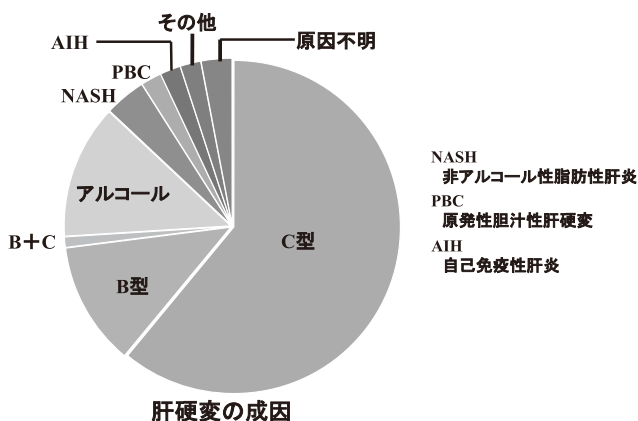
第3回 肝硬変

臨床研究部長（消化器内科）小松 達司

肝臓の病気は、かなり進行していても、はっきりとした自覚症状が出現しないことも稀ではありません。そのため肝臓は「沈黙の臓器」と言われています。

肝硬変とは：種々の原因により肝障害が長い年月にわたって持続すると、肝臓の細胞は破壊、再生を繰り返し、肝臓は徐々に線維が増えて最終的には硬く、小さくなっていきます。この状態が肝硬変です。

肝硬変の原因：わが国の肝硬変の患者数は40～50万人と推定されています。肝硬変の原因は様々ですが、日本では、C型肝炎ウイルス感染によるものが圧倒的に多く約60%、B型肝炎ウイルス感染が15%、アルコール性が15%、この3つで肝硬変全体の90%を占めています。その他の原因としては、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎などがあります。C型肝炎はインターフェロンを中心とした抗ウイルス療法により、多くの症例でウイルスを排除し治癒することができるようになりました。また、B型肝炎も核酸アナログやインターフェロン療法により肝炎を鎮静化させることが可能となり、肝硬変に至る症例は減少してきています。一方、アルコール性肝疾患や非アルコール性脂肪性肝炎などの生活習慣に関連した肝疾患は増加しており、今後肝硬変の主要な原因となることが予想されます。



肝硬変の診断：肝硬変の診断には、①血液検査、②画像検査、③組織検査が行われます。血液検査では、血小板の低下（10万以下）、アルブミンの低下（3.5g/dl以下）、AST(GOT) > ALT (GPT)、線維化マーカー（ヒアルロン酸、4型コラーゲンなど）の高値などが、肝硬変を疑う所見です。また、肝硬変ではしばしば肝臓の右側が小さくなり左側が肥大します。表面の凹凸や脾臓の腫大、腹水の存在なども特徴的で、腹部超音波（エコー）やCT、MRIなどの画像検査を行って、上記所見を確認します。胃カメラなどで、食道や胃の静脈瘤を認めれば、肝硬変である可能性が非常に高くなります。血液検査と画像検査により、肝硬変と診断できる場合が多いのですが、画像検査で特徴的な所見が得られない初期の肝硬変などでは肝生検による組織検査が必要になることもあります。

肝硬変の治療：肝硬変の原因に対する治療を行います。原因がB型肝炎ならば核酸アナログ製剤、C型肝炎で初期の肝硬変ならインターフェロン治療、自己免疫性肝炎には副腎皮質ホルモンの投与を行います。また、肝硬変の原因がなんであっても、原則禁酒、食事は高蛋白、高カロリーではなく、標準体重を目標とした食事療法です。

肝硬変の合併症とその対策：冒頭にも述べましたが、初期の肝硬変では自覚症状はほとんどありません。しかし、肝硬変が進行すると様々な症状や合併症を生じてきます。腹水、黄疸、肝性脳症、出血傾向、食道胃静脈瘤、糖尿病などが頻度の高いものです。また肝硬変では、癌（肝細胞癌）を合併しやすくなります。代表的な合併症について説明します。

①**腹水：**腹水の原因には心臓病、腎臓病、腹膜炎などがありますが、肝硬変の際に生じる腹水は血液中のアルブミンの低下と門脈の圧が高くなるために発生します。治療は安静、塩分制限、

利尿剤の投与を行います。これらの治療でも改善しない腹水を「難治性腹水」と言います。難治性腹水に対しては、アルブミン製剤の点滴、腹水穿刺排液、腹水濾過濃縮再静注などが行われます。

②**肝性脳症**：肝性脳症とは、本来肝臓で解毒されるアンモニア(主に腸内細菌が産生)などの有害物質が、肝臓の機能低下のために解毒されずに血液中で増加し、脳に影響するために現れる意識障害です。肝性脳症は、便秘、蛋白質の過剰摂取、脱水、感染症、消化管出血などが原因となって生じることが多いため、治療はまず肝性脳症の原因を取り除くこと(たとえば便秘が原因なら浣腸や下剤の投与など)が重要です。同時に分岐鎖アミノ酸(BCAA)製剤の輸液、合成二糖類(ラクツロースなど)の投与などを行い、意識状態の改善をはかります。肝性脳症の既往がある方、あるいは出現する可能性が高い

病状の方は、車の運転などは禁止です。

③**食道胃静脈瘤**：肝硬変では、消化管から肝臓に流入する門脈の血圧が高くなるため、食道や胃の周りに逃げ道ができ、血流がふえて発達し静脈瘤となります。静脈瘤は破裂するまで症状はありません。破裂すると大出血を起こし、生命に危険が及ぶことがあります。破裂する危険性がある静脈瘤に対しては、内視鏡的食道静脈瘤結紮術などの予防的治療を行います。④**肝細胞癌**：肝細胞癌が発生しても自覚症状はありません。画像検査を定期的に行い、癌を早期に発見することが重要です。

肝臓の病気は自覚症状がほとんどありません。検診などで定期的に肝機能検査を受けてください。もし異常を指摘された場合は、かかりつけ医などに相談することをお勧めいたします。

お知らせコーナー

非常用自家発電機を増設しました



業務班長 石田 雄一

皆さん、当センターの西側、道路に面した敷地内に、四方を高い壁で囲まれた建物が建ったのはご存じですか？

あの壁は防音用の壁で、壁の中には、写真の様な常用のガス発電機を使用する「コージェネレーションシステム」が設置されております。(写真は、防音壁を設置する前に撮ったものです。)

家庭用コージェネレーションシステムは、電気ウナギのTVCM等でご存じの方も多いかもかもしれませんが、その特大版だと思ってください。

東日本大震災の発生後、計画停電が当センターでも実施されました。その際、非常用自家発電機が有効に機能いたしました。その発電機の燃料である重油の調達には大変苦労をいたしました。そこで、災害時にも信頼性の高い中圧管を使用しているガスを利用する常用のガス発電機を導入することで、災害発生時に停電となった場合でも、燃料調達に苦慮することなく、レントゲン機器や無停電電源装置等の電力を確保することができます。

そして夏や冬の冷暖房使用による電力使用量が多くなる時期、この発電機を併用することで、購入電力を抑えることができる省エネルギー対策や、発電時の排熱を利用して病院の空調設備等に使用のお湯を作ることができるため、既存の給湯設備をさらに効率的に使用することができる、というCo2削減対策にも寄与することが出来ます。

先日、総合運転試験が終了し、いよいよ本格的に稼働します。そして、まずこの夏の冷房使用時から、その節電・Co2削減能力を十分に発揮してくれることを期待しております。

お知らせコーナー

新しい血管撮影装置が入りました

診療放射線技師 主任 吉川 洋

血管造影をご存知ですか。血管の中に造影剤を挿入して、血管の流れや形態異常を検査するものです。必要に応じて血管を広げたり、出血部位の血流を止めたりすることができます。

当院には2台の血管撮影装置がありますが、そのうちの1台が東芝社製の最新の装置にかわりました。この装置は三次元再構成処理によりCTと同様な画像を作ることが出来ます。また、被ばく低減に寄与する多彩なアプリケーションを備えているため、患者さんの被ばく低減が図れます。



対応部位は全身で、脳血管をはじめ、腹部や末梢血管の診断・治療に役立ちます。特に脳血管の動脈瘤では高精細血管像により、1回の造影では形態判断が困難であった動脈瘤を3次元画像として自由な方向から見る事ができます。いつ破裂するかわからない動脈瘤を3次元画像にすることで手術に大いに貢献すると期待されています。

腹部血管では腫瘍のある部位に選択的に抗がん剤を投与したり、腫瘍に栄養を与えている血管に詰り物を入れたりして血流を止める塞栓術も行っています。また、交通外傷等で出血している部位の血管を止める塞栓術も行っています。

末梢血管(脚や腕の血管)では、血流がなくなると壊死に至り、切断を余儀なくされます。そこで、狭窄部位を拡げたり、血栓を取り除いたりして血流をよくする治療を行っています。

心臓の検査や治療も多く行われています。心臓の周りの冠状動脈を検査し、狭窄部位を拡げたり、血栓を取り除いたりします。また、心臓の動きや弁の状態を検査したり、検査で判明した不整脈の原因を取り除く治療を行ったりします。心臓以外でも、肺動脈の血栓除去や大動脈の検査などを行っています。

他にも色々な検査や治療を行っています。もし、気になることや聞きたいことがございましたら、お気軽にスタッフにお尋ね下さい。

行事紹介

第49回生 卒業式

教員 服部 さゆり

平成26年3月7日、春のあたたかな日差しに包まれ、第49回生76名が、無事に卒業し、巣立っていきました。

卒業式での学生の姿は、高校を卒業したばかりの3年前とは違って、さまざまな事を学習し、成長した凛々しい姿でした。また、表情は、実習のこと、友達と語り合ったこと、国家試験の勉強で頑張ったこと、などの思い出を、かみしめているように見えました。

そして、ご来賓の皆様からの温かい励ましの言葉を頂き、これから看護師としての第一歩を踏み出すことに、希望を抱きつつ、改めて身の引き締まる思いを感じた様子でした。

卒業生の皆さん。これから、就職し、さまざまな事があると思います。これまで、多くの方々に、ご指導・ご協力いただいたことに感謝し、しっかり前を向いて歩んでほしいと思います。

まだまだ、未熟な新人看護師49回生ですが、皆様どうぞ温かく見守り、ご指導いただきますよう、よろしく願いいたします。



第52回生 入学式

教員 服部 さゆり

桜の花が満開の4月4日（金）に第52回生の入学式が行われました。

新入生認証では、緊張した雰囲気の中、担任より名前を呼ばれると、一人ひとり大きな返事をし、その声からは、入学への喜びや看護師になるべく決意を感じとることができました。

今年度の学生は、新入生74名を迎え総勢244名となりました。今後は、看護学生として専門的な知識や技術など新たな学習が始まります。この3年間で、感動や歓喜、また辛い状況に直面することがあるかと思います。そ

のような時には、看護師になるという夢の実現に向けて、私たち教職員一同サポートしていきたいと思えます。それぞれの学生が、一人の人間としても成長できるよう、どうぞ皆様も第52回生を今後も温かく見守ってくださいませようお願い申し上げます。



第3回 感染対策チーム

感染管理認定看護師 深瀬 史江

こんにちは。感染対策チーム（英語でInfection Control Team）略してICTです。

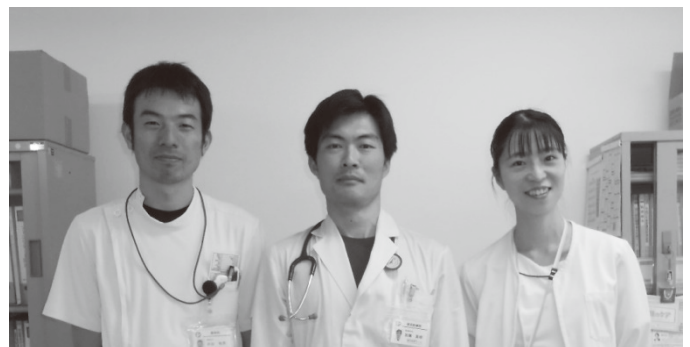
ICTは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員などから構成され、入院中の患者さんはもちろん、職員やその家族、見舞いに来る人をウイルスや細菌等の感染から守るための活動をしています。その内容は大きく分けて感染症診療と感染制御に分かれます。

抗菌薬（抗生物質）は細菌感染の治療に使う薬ですが、反面、不適切な使用は耐性菌（抗菌薬の効かなくなってしまった菌）を誘導してしまいます。そのため、原因となった菌に最も適した抗菌薬を、適正な量・適正な期間使うことが求められます。当院では、各科主治医が感染症の診断・治療に難渋した場合、依頼に応じて抗菌薬の選択など感染症診療支援を行います。私たちは細菌検査室からの情報を常に取得していますので、培養の結果をもとにそれぞれの患者さんに最も適した抗菌薬を提案しています。治療を途中でやめると病気の再燃や、菌の耐性化を起こすことがありますので、みなさんも抗菌薬を処方されたら、症状が改善しても指示された量・期間を守るようにしてください。

耐性菌を増やさないためには、不適切な抗菌薬の投与を減らすこと、そして耐性菌の拡大を阻止することが大切です。感染対策チームでは、薬剤科と協力して抗菌薬が適正に使用されているか調査して、不適切な場合には薬を変更するように主治医に指導することもあります。耐性菌がどこで検出され、どこで広がっているか監視するのも私たちの仕事で、これは細菌検査室と協力して行っています。ほとんどの耐性菌は接触感染と言って、人の手を通じて別の患者さんに広がっていくため、正しい手洗（ハンドソープによる手洗い・アルコール消毒）によって拡大を防ぐことができます。アルコール消毒は病室の入り口、処置室等、様々な場所に置いてあり、医療スタッフは処置の前後で必ずアルコールで手指消毒することになっています。ぜひ患者さんやお見舞いの方も、病室の出入りの際などには使っていただくようお願いいたします。またアルコール消毒はインフルエンザウイルスにも有効です。インフルエンザなどの流行性ウイルス感染に対しては、横浜市との連携により地域での感染症の流行状況の把握、情報交換を行い、感染の拡大防止に努めています。またインフルエンザ、麻疹・風疹等ワクチン接種の推進を行っています。

ICTはすべての診療科、部署とかかわりながら活動しています。主治医の先生から依頼があれば患者さんの診察も行います。その時はよろしくお願ひします。

手洗いをしそこないやすい部位



出典
Taylor, L. J.: An evaluation of handwashing technique. 1. Nursing Times 12: 54-55, 1978

病診連携施設紹介

おかもと内科皮膚科クリニック

皆様、こんにちは。院長の岡本記代士です。当院は東戸塚で開業しております。横浜医療センターは同じ戸塚区とは言え離れた場所で、あまりご存じない方もおられると思いますので、ここにQ&A形式で自己紹介させていただきます。

Q) 開院は？ A) 平成14年4月1日です。今年で13年目となります。

Q) 標榜科は？ A) 内科、呼吸器科、循環器科、皮膚科、アレルギー科です。内科は私が担当、皮膚科は副院長が診察、それぞれの専門医で診療しております。

Q) 専門は？ A) 内科は喘息、肺気腫、慢性気管支炎などの呼吸器疾患を専門として、皮膚科はアトピー性皮膚炎を中心に、じんましん、水虫、ニキビ、イボなど皮膚科全般の診察をしています。

Q) 所在地は？ A) 東戸塚駅西口を出て、徒歩2分のところにあります。隣の高層ビルには大手スーパーマーケット、駅をはさんでデパートなどの商業施設があり大変便利な場所です。開業したところにはまだ隣の高層ビルは出来ておらずやたらに広い駐車場でした。暗い寂しい駐車場を通り抜け帰宅しておりましたが、現在は賑やかで明るくなりつつ買い物して帰ってしまいます。

Q) 院長先生の出身地は？ A) 私はだんじり祭りで有名な大阪府岸和田市出身です。妻の実家に近いため戸塚で開業致しました。診療を開始して大変驚きましたのは、患者さまが大変上品な方が多いことでした。私が開業前に勤務していた病院は大阪市内の下町に在り、人情味あふれるところでしたが、入院していた患者が拳銃で撃たれてテレビや新聞をにぎわしたり、外来にはこわもての患者が散見されたりしておりましたが、それに比べると東戸塚周辺は常識的なお行儀のよい方が多いと感じられます。

Q) 横浜医療センターへ一言？ A) 緊急患者さんの受け入れや入院の依頼など各科でお世話になりありがとうございます。いつも頼りにしており、大変感謝しております。

当院では平成21年に電子カルテの導入、平成24年に予約制にして待ち時間の短縮の実現などサービスの向上に努めて参りました。今後も、内科、皮膚科各専門医として地域医療に微力ながら尽力して参りますので、宜しく願い申し上げます。



後列中心が岡本記代士院長



おかもと内科皮膚科クリニック

〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町 8 4 - 1
TEL : 045-822-3333

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	●	●	/	●	●	●	/
午後 16:00~19:00	●	●	/	●	●	/	/

休診日 水曜・日曜・祝日

※予約制です

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 内田 理 小野塚 友里	福山 綾子 山崎 博子 西山 邦幸	小林 慈典 大杉 康司 松丸 佳世	鈴木 陽一 矢竹 曜子 中山 彰	塩谷 裕美 伊藤 育香 林 裕介	
	心臓血管外科 形成外科	益子原 幸宏	休診日(手術日) 村下 一晃	休診日(手術日) 東館 雅文	※東館 雅文 村下 一晃	東館 雅文 村下 一晃	※木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	整形外科	瀧上 秀威 石ヶ坪 諒 仲 拓磨	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	瀧上 秀威 高 倫浩 仲 拓磨	日塔 寛昇 上條 晃 伊藤 りえ	石ヶ坪 諒 上條 晃 高 倫浩	★: 予約患者のみ。
		★瀧上 秀威				★日塔 寛昇	★: 予約患者のみ。
外来受付 B	総合内科外来	交代医師 重松 絵理奈 ■藤井 梨絵	交代医師 重松 絵理奈	交代医師 宇治原 誠 ◎藤井 梨絵	交代医師 宇治原 誠	交代医師 小野 佐知子	◎: Aブロックで診察。午前のみ。 ■: 午後の予約のみ ▼: Aブロックで診察。 初診には紹介状が必要。
	糖尿病内分泌内科						
	神経内科	森原 啓介	山崎 舞子 ■園井 美紗子	上木 英人	岡本 光生 ■室橋 洋子	高橋 竜哉	
	腎臓内科	松下 啓 後藤 秀人	中野 雅友樹	小宮 麻里子	松下 啓	須藤 成人	
	呼吸器内科	▲榎原 基史 交代医師(初診) 塩原 康正	▼榎原 基史 田村 優子(初診) 小松 達司(初診)	小嶋 亮太 ■須藤 成人	休診日(検査日) ■後藤 秀人	須藤 成人 ■小嶋 亮太 交代医師(初診)	
	消化器内科	交代医師(初診) 塩原 康正	田村 優子(初診) 鈴木 大輔	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか	交代医師(初診) 小松 達司	
	循環器内科	森 文章 内田 吉枝	岩出 和徳 ■齋藤 貴士	田中 直秀 ■森田 紗恵	田中 直秀(午前) ■小松 達司	岩出 和徳 ■森田 紗恵	
		初診: 交代(②)	初診: 田中 直秀 休診日 ■宮城 理美子	初診: 岩出 和徳 休診日 (検査日) ■出口 治子	初診: 岩出 和徳 休診日 ■出口 治子	初診: 森 文章 出口 治子 ■宮城 理美子	②: 第1・2週 田中 直秀、第3・4・5週 岩出 和徳 ※火曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	リウマチ科	出口 治子 清水 哲也	■出口 治子 ■宮城 理美子	■出口 治子 ■宮城 理美子	■出口 治子 ■宮城 理美子	■出口 治子 ■宮城 理美子	
	外科	小笠原 康夫 山本 悠史	松田 悟郎 齊藤 修治	平谷 清吾 和田 朋子	松田 悟郎 清水 哲也 和田 朋子	休診日 (手術日)	
			五来 厚生 野間 大智	交代医師③	交代医師④	五来 厚生 野間 大智	
	呼吸器外科	休診日 (手術日)	手術日	◇脳ドック	休診日 (手術日)	坂本 和裕 野間 大智 藤津 和彦 市川 輝夫	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、 直接ご連絡ください。 ③: 第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ④: 第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎 ◇: 脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に 「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。
	麻酔科(ペイン・緩和)	伊藤 純子		田澤 利治		伊藤 純子	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○: 予約外の診察には紹介状が必要です。 手術日	
	眼科	木村 正彦 熊代 俊	■熊代 俊 手術日	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 ■熊代 俊	休診日 (手術日)	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。 (8:30～11:00)
		本田 直康 奥野 紀彦 大山 哲平	奥野 紀彦 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	本田 直康 高田 治子 大山 哲平	
	皮膚科	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	水曜日は新患(要紹介状)のみとなります。 水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	
	精神科	鈴木 将裕	大橋 茉莉子 戸代原 奈央	古野 拓	吉田 晴久	土屋 美江 許 博陽	※月～金: 初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は左記の予約担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	婦人科 産科	栃尾 梓 太田 幸亮	奥田 美加 鈴木 理絵	窪田 興志 奥田 美加	栗杉 輝彦 中口 芳彦	鈴木 理絵 栃尾 梓	初診には紹介状が必要。
歯科口腔外科	根岸 明秀 (再診のみ)	根岸 明秀 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	休診日 (入院手術日) ※急患はご連絡ください。	根岸 明秀 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 赤津 千絵 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～11:00、初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診: 紹介状又は診療情報提供書を持参してください。 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (予約制)	小児科	アレルギー検査 シシス(9～4月) (矢竹)	アレルギー(⑤) フォローアップ外来 (矢竹)	アレルギー(塩谷) アレルギー(宮地)	フォローアップ外来 (福山) 1ヵ月健診 (交代医師)	アレルギー(内田) 神経外来(⑥)	⑤: 第1・3週(火)長濱 ⑥: 第1・3・5週(金)本井
		感染免疫・アレルギー (小林)	アレルギー(鈴木) アレルギー(山崎)	予防接種(交代制) 13:30-14:30	1ヵ月健診 (交代医師)	循環器外来(鈴木)	⑦: 第1・3週(月)感染免疫 伊藤
	整形外科	スポーツ整形外科(上級) (◎)	手外科(◎)			スポーツ整形外科(上級) (◎)	⑧: 第2・4週(月)内分泌 大杉 ⑨: 毎週15:00～16:00 ⑩: 毎週14:30～15:30
	神経内科		◎頭痛外来 摂食・嚥下外来 物忘れ外来				地域連携室を通して完全予約制 ◎第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来)
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来					
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来		
	感染症内科		感染症外来				
	看護部			糖尿病看護ケア外来	糖尿病看護ケア外来		
	外科		スキンケア外来	糖尿病フットケア外来	糖尿病フットケア外来	乳がん検診	
	耳鼻咽喉科			スキンケア外来	補聴器外来(午後)		
	皮膚科	血管炎外来					
	循環器科			ハースメカ外来	睡眠時無呼吸 症候群外来		
	精神科	物忘れ外来 助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	物忘れ外来 助産師外来	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制
産婦人科	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽: 午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。 地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)	
呼吸器外科					アスベスト外来(坂本)	9:00～11:00 地域連携室を通して完全予約制	
放射線科	海津 久		向井 佑希	榎多 政治			

初診受付: 平日 8:30～10:00
再診(予約)受付: 平日 8:30～10:00
休診日: 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

春です。暖かく過ごしやすい気候となり、多くの職場では新人が入職し、フレッシュな風を吹かせてくれています。当院も、百数十名の新人が入職し、病院全体が活気づけてくれています。「これから、1年、このメンバーで一緒にがんばっていこう！」春は、そんな気持ちにさせてくれる季節ですね。今年一年、皆様に「読み答えがあった」と喜んでいただけるような『原宿かわら版』を作っていこうと思っています。(M.T)